

東北に春を告げるまち

広報

ひろの

No. 488

2012.4

町民憲章

1. 自然を愛し、心のふれ合う、平和なまちにします。
1. 仕事に誇りを持ち、力をあわせて、豊かなまちにします。
1. 互いに尊敬し、仲良く話し合える楽しいまちにします。
1. 教養を高め、からだをきたえ、明るいまちにします。
1. あしたに希望を持ち、たくましく、前進するまちにします。

●Contents

町長あいさつ	2～3
卒業生「答辞」 広野中学校	4～5
卒業式 別れのことば 広野小学校	6～7
復興計画	8～10
まちの話題	11
お知らせ	12～13
保健だより	14
モニタリングデータ	15
ゴミ収集カレンダー	16



ここからはじめよう。

ふるさとに春を告げるために。。。

避難指示解除にあたって

町民の皆様へ



広野町町長
山田 基 星

昨年の大震災から1年が経過しました現在も、未だ多くの町民が避難を余儀なくされ、仮設住宅等で不自由な生活を強いられている状況にありますことは、本当に悔しく、残念な思いであります。

昨年3月13日、私は、福島第一原子力発電所1号機の水素爆発を受け、町民の皆様の安全を最優先に考え、全町民に対して避難指示を発令しました。

政府は、昨年4月22日には、当町全域を含む福島第一原子力発電所の半径20キロメートルから30キロメートルの地域を「緊急時避難準備区域」に指定しました。その後、昨年9月30日には、福島第一原子力発電所事故



の収束に向けた「ステップ1」が達成され、今後、水素爆発の可能性が低くなったとの理由から「緊急時避難準備区域」の解除を行いました。

町としては、平成24年中の町民の帰還完了を目指し、放射性物質の除染やインフラの復旧等を進める「広野町緊急時避難準備区域復旧計画」を策定し、復旧・復興に取り組んで参りました。

そして、その取り組みに基づく町内の現状と今後の町としての対応について、去る3月25日から27日にわたり住民懇談会を開催し、町民の皆様にご報告をさせていただいたところであります。

今般、いわき市に移転していた役場機能を町内に戻し業務を再開したこと、町内の放射性物質の除染作業に着手し年内に完了する見通しとなったこと、広野小学校、広野中学校等の教育施設の24年度第2学期からの再開が見通しが立ったことなどを総合的に判断し、昨年、私が発令いたしました避難指示を、3

月31日をもって解除いたしました。

住民懇談会におきましても、町民の皆様からは除染の徹底やインフラの完全復旧などのご意見を頂戴しました。確かに、町は「3・11」以前とは未だ遠い状況にあります。また、町民の皆様はそれぞれに様々な事情を抱えておられます。

町民の皆様におかれましては、町内の現状において生活が可能な方からお戻りいただき、町の復興にお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

季節は春を迎えましたが、「東北に春を告げるまち」に本当の春が来るのはまだ先です。その日を信じ、私は先頭に立って、皆様とともに復興への道を進んでいくことをお誓いします。

平成24年4月1日

広野町長 山田基星



3月11日、あの日から1年。

今なお続く避難生活で苦しむ中でも、前を向いて一歩一歩踏み出している広野小学校卒業生と広野中学校卒業生。そんな子どもたちの背中にそっと手を添え、成長を温かく見守りながらも苦悩する保護者。卒業式を迎えた場所・環境は違えども、広野小学校卒業生・広野中学校卒業生・保護者としての心はひとつ。それぞれの卒業式で発表された別れのことばを掲載します。

広野中学校 卒業式

卒業生 「答辞」

卒業 それは『特別』な日

卒業 それは 私たちのゴール

卒業 それは 僕たちの 旅立ちの日

卒業 それは 一年前の 震災の記憶

卒業！

去年の3月11日……。震災は卒業式の日
に起こりました。

あの日から、私たちの中学校生活は、すっかり違ったものになってしまいました。

私たちが普通に過ごし、広野中学校で中学3年生を迎え、

いつもどおりの仲間と、いつものように暮らし、

夏には中体連の最後の大会を目指し、そして秋にはきつと広蛸祭で盛り上がり、

やがて81名の仲間と、もしかしたら今日の卒業式を無事、みんなで迎えていたかも知れません。

去年の卒業式の午後、築地が丘体育館



でバレーボールの練習をしていた私は、グラウンドに避難し、雪の降る中、先生方が準備してくれたテントの中で余震におびえながら、寒さに震えていました。

僕は、浅見川の下流で、津波に飲み込まれる家々や、駅から避難してきた乗客が、体育館に上^りってくる姿が、今でも頭に焼き付いて離れません。

しかし、起きてしまったことを、今更無かったことにしたいと思ってみても始まりませんし、悔やんでも仕方のないことです。

私は、震災後、親戚の家や体育館で避難生活を送り、現在は仮設住宅で生活を送っています。学校も2度変わりました。湯本二中は3回目の転校ですが、広野中に戻ってくる事ができてうれしく思っています。

僕の父は、あの日以来、仕事を失いました。しかし家族は、僕の部活動に対する熱い気持ちを知っていたので、部活がしやすいようにと、僕の都合を優先して転校先を考え、学校の近くにアパートを見つけてくれました。

避難先での生活は、辛いことばかりではありませんでした。私は父の実家のある高知県まで避難しました。転学先の中学校で、私はバレーボールで県大会に出場することができました。チームメイトにも恵まれ、高知県の強豪校の一員として試合に出場し、バレーボールができる喜びを感じることができました。福島で果たせなかった県大会出場の夢を、そして最後の中体連の思い出を避難先の中学校で作ることができました。

思い返すと、私たちは、広野中学校で1、2年生として過ごすことができ、本当に幸せでした。

1年生では、全国各地から集まったアカデミーの人達と入学後に出会ったこと、北茨城の龍神大吊り橋や袋田の滝へ学習旅行に行ったこと、楽しかった芋煮会や学年レク、広野町の『まるごと調査隊』の学年発表を行った広蛸祭……。

中2の学習旅行は、東京お台場での別自主研修でした。

職業調べをしながら東京の街を歩いて回りました。思えばあれが、1年早い修学旅行のような旅行でした。

2年生で迎えた広蛸祭では、『ダーツの旅』をヒントに、テレビ番組風にふるさとの紹介を劇にまとめ、発表しました。広蛸祭当日、僕は劇の中で、カメラマンを担当しました。

僕は、学年の発表劇で、トトロのヘルメットをかぶったことが忘れられません。

『もし広野中で3年生を迎えていたら、何が一番楽しみでしたか』というアンケートの答えとして、最も多かったのは、「広蛸祭」という答えでした。

もしあのまま3年生として広野中で広蛸祭ができたとしたら、合唱も、劇も、きっと一番素晴らしい発表ができたのではないかと思います。



8月に大きなニュースが伝えられました。

広野中再開のニュースです。

僕は、広野中生として卒業しなかったのので、『すぐにでも行きたい。』と親に伝えました。両親は理解してくれました。僕はその時、友達とまた会える喜びだけで、心の中がいっぱいだったように思います。

僕には広野中が合っていました。転校先の学校に慣れなかったこともありすが、高校はいわきの高校に通学したかったので、早めにいわきに戻ろうと思って



いました。広野中でまた友達に会えることはもちろん、親が、自分の進路を最優先に考えてくれたことが何よりもうれしかったです。

僕は、栃木県に避難していました。しかし広野中の人が数多く避難していると聞いていた、いわき市に戻りたくてしかたがありませんでした。僕は、平三中に転校しました。平三中の野球部に所属し、外野手、5番バッターを務めさせてもらい、試合にも出させてもらいました。中体連の最後は、平二中との対戦でした……。平二中にも広野中の友達が2人いました。それが僕の最後の試合でした。広野中の野球部として県大会出場という一年前の大きな目標は叶えることができませんでしたが、いつの日かまた、広野中のメンバーが集まって、あのなつかしい広野中のグラウンドでキャッチボールをしたいと思います。それが、今の僕の夢になりました。

広野中は10月3日に、ここ湯本二中で学校を再開することができました。

私たちが快く受け入れてくださった、いわき市の皆様、ありがとうございます。

また、湯本二中の、校長先生はじめ先生方、湯本二中の生徒の皆さん、校舎をいろいろ使わせてくださいました、ありがとうございます。

広野中が10月に再開して、私たちはふ

たたび友達と会うことができました。

それは本当に嬉しい出来事でした。

10月末には、神奈川新聞社さんや、神奈川県教育委員会さんのご支援によって、鎌倉や横浜への学習旅行に行くことができました。

僕たちにとって、この旅行の思い出は、どれほど嬉しかったかわかりません。

広野中の中3として、出かけることのできた一番楽しい旅行になりました。

さらには、これまで学校再開のために力を尽くしてくださいました、

広野町の町長さんはじめ、町議会の皆様、役場の職員の皆様、教育委員会の皆様、ありがとうございます。

また、これまで、私たちを支えてくださいました、校長先生はじめ先生方、1、2年生の後輩の皆さん、今までお世話になりました。

私たちは十分に良い生徒、必ずしも立派な先輩ではありませんでしたが、皆さんと一緒にこの半年間を過ごすことができ、本当に幸せでした。

広野中の、このささやかな灯火を、絶やさずに伝えていってください。

震災以来、これまで全国各地から届けられたたくさんの方の応援や支援も忘れられません。

今までお世話になりましたすべての皆様に、今、心から感謝の気持ちを伝えたいと思います。

最後に、中学卒業まで育ててくださった、お父さん、お母さん、ありがとうございます。

特にこの一年は、めまぐるしく変わる状況の中でも、私たちが毎日を安心して過ごせるように、いつも見守ってくださいました。今までわがままを言って困らせたいこともありませんが、今、心を込めて言いたいと思います。

ありがとうございました。

こうして、お別れの言葉を申し上げている間にも、刻、一刻とお別れの時が近づいて参りました。

名残は尽きませんが、最後に卒業生全員、未来に向かって羽ばたくことを誓い、お別れの言葉といたします。

さよなら、後輩の皆さん。

さよなら、先生。

さよなら、友達。

さよなら、私たちの母校。

広野中学校

平成23年度卒業生（在籍数 13人）

阿部俊介、遠藤涼太、柏穂乃香、金子沙矢、小松愛里、田村章悟、根本美奈、根本勇輝、松本優奈、

山内一希、遠藤大志、松本絵里香、

水竹彩花

広野小学校 卒業式

別れのことば

うらかな春の日ざしが
輝きをます 今日のよき日
私たち 20名は
広野小学校の6年生として
卒業の日を迎えることができました。
そして 今 卒業証書を手にし
夢のよう感激しています。

私たちは 広野小学校でたくさん
の思い出を作ることができました。

広い校庭を思い切り走った運動会
奉仕する心の大切さを学んだ委員会活動
自然の中で、友達と協力して活動し
友情を深めた宿泊活動

お米を作ることの大変さや喜びを学んだ
総合学習

自分たちで計画を立て 電車で出かけた
東京への修学旅行

きん張しながら、少ない人数で精いっぱい
取り組んだ学習発表会

広野町の人たちと楽しく過ごした仮設住
宅での交流会

あの日 あの時 思い出が
みんなの笑顔とともにあふれてきます。

去年の3月11日から私たちもつらい日
が続きました。

でも、2学期から広野小学校が再開し、
多くの友達にもまた会うことができました。
わたしたちにやさしく接してくれた中央

台南小の先生方や多くの友達
何気ないことの中に幸せがたくさんつま
っていることを知りました。

そして、私たちはたくさんの人に見守ら
れていることに改めて気づきました。

広野町を離れて、ふるさと広野町の素晴
らしさをたくさん感じました。

今は離ればなれになっている友達とい
つか広野町で再び会えると信じています。

うれしい時も悲しい時もいつもそばにい
て温かく見守ってくださいました お父さん

お母さん
時には優しく 時には厳しく

学ぶことの大切さややり遂げることの喜
びを教えてくださいました先生方

小さいころから私たちを励まし応援して
くださった広野町のみなさん

慣れない私たちに温かく接してください
ました、いわき市をはじめとする避難先の方々

私たちはこんなに成長し、今日の日を迎
えることができました。

ありがとうございました。

在校生のみなさん

母校の歴史を受け継ぐ みなさんに
今、すべてを託しバトンを渡します。

そして 私たちは

歴史と伝統に輝く
広野小学校を巣立ちます。

いよいよお別れの時です。
明日を夢見る ぼくたちが

未来に生きる私たちが
最後に

みなさんと



限りない 母校の発展を祈って
 ともに歌いましょう。
 広野小学校の校歌を

広野小学校
 平成23年度卒業生（在籍数20人）

- 新妻 拓偉
- 蛭田 敦美
- 根本 翔
- 大和田幸誠
- 遠藤 勇志
- 日下 雄太
- 根本 凌
- 大和田瑠華
- 太田 湧慎
- 松本 圭央
- 松本 彩華
- 根本紗也加
- 鈴木 勝也
- 白川 裕貴
- 根本 妃奈
- 柏 航
- 高木 美里
- 土屋 昌
- 星 愛莉
- 渡邊 金四朗



町民一人ひとりの生活の復興

町では、平成23年3月11日に発生した東日本大震災および東京電力福島第一原子力発電所の事故からの復興に向けて復興計画を平成24年3月1日に策定しました。

この計画では、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」など、4つの基本方針を掲げ、「町民一人ひとりの生活の復興」「ふるさと広野町の復興」を目指し、町民と一体となって復興に資する事業を展開したいと考えています。この計画の策定に当たっては、町民の代表者からなる策定協議会、町民の皆さんからいただいた意見などを計画に反映させ、今後10年間の復興の道筋を示す復興計画を策定しました。

基本方針

誰もが安心して暮らせるまちづくり

復興計画の目的は、町民一人ひとりの生活の復興です。原発事故に伴う健康被害、風評被害や雇用不安などに対して町民が幸せな暮らしを取り戻すことを最優先に安心して暮らせるまちづくりを行います。

災害に強い都市基盤と心のネットワークによる安全・安心なまちづくり

東日本大震災による津波被害

害、さらに原発事故においてもその直後の避難情報などが正確に伝わらないなどの問題が露見しました。こうしたことを踏まえ災害に強い都市基盤の形成を図ります。また、多くの町民が避難生活之余儀なくされるなかで、多くの方々から応援をいただきました。こうした心と心のネットワーク、絆こそが大事であり、ひいては災害対しても強いコミュニティを作っていくことが必要になります。

21世紀の世界を担う新たな産業創出による賑わいのあるまちづくり

原発事故収束や廃炉などに関わる新たな産業創出が期待されています。こうした機会を逃すことなく、的確な対応を図り、若者や子どもたちにとって魅力ある就業先となる新たな産業創出を図っていきます。

双葉地域の復興を担うまちづくり

現在、双葉地域の多くの広域行政機関や公益機能が失わ

れたままとなっています。今後、双葉地域が復興していくためには、これらの代替機能の構築が求められています。当町が双葉地域のモデルとなるとともに、双葉地域復興のために積極的に関わっていきます。

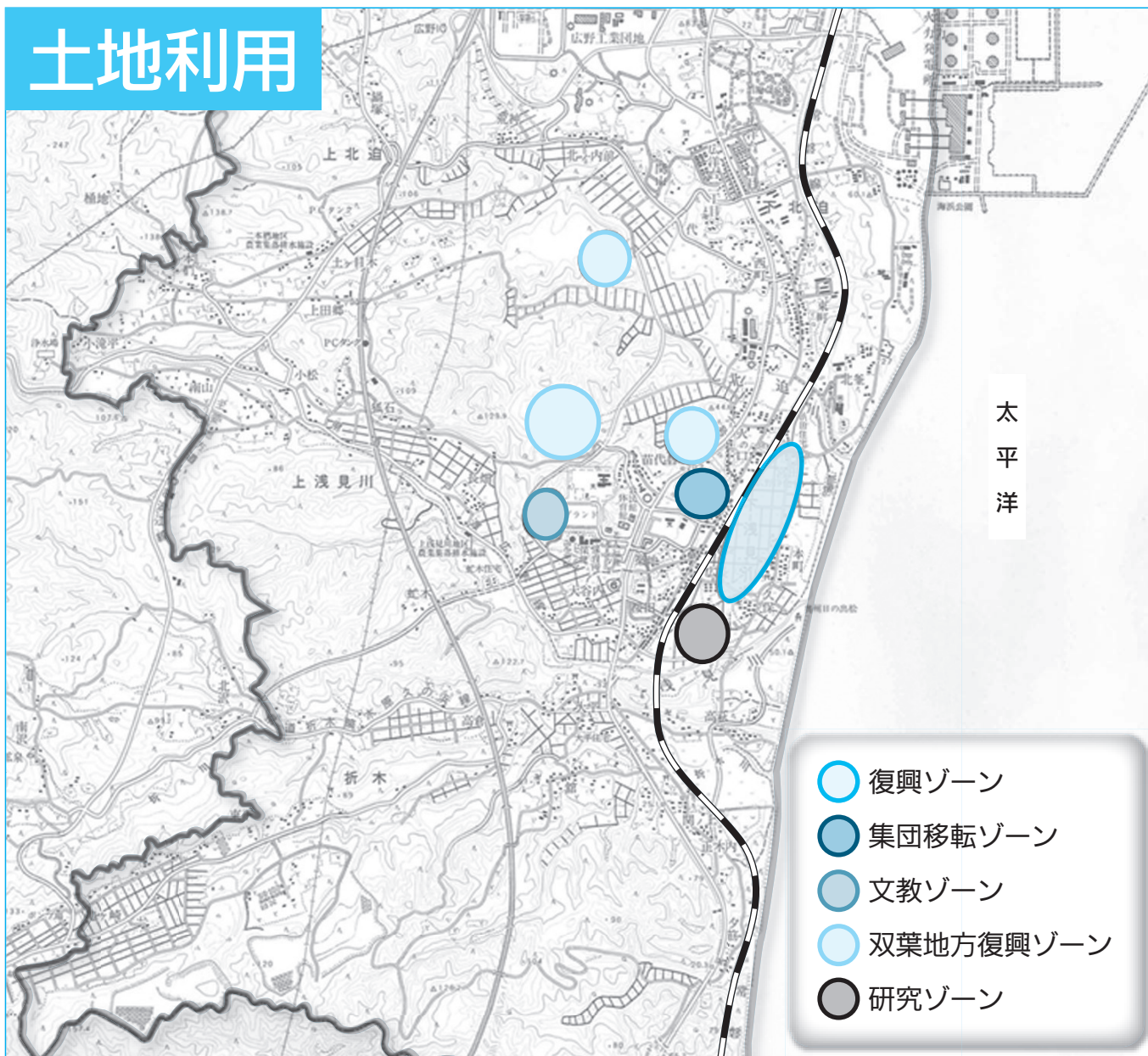
町民との協働

町民一人ひとりの生活の復興は行政だけでできるものではありません。困難なときこそ、行政はもとより町民、事業者それぞれが力を合わせ、役割分担をしながら協働していくことが必要です。



広野町

土地利用



○ 復興ゾーン

今後想定される津波などから人命や財産を守るため、防波堤や県道広野・小高線のかさ上げ、防災緑地、避難路を整備することにより災害を最小限度にとどめる「減災」を図ります。

土地利用については、地権者や居住者の意向を踏まえつつ、原子力災害対策関連事業所の立地や、各種研究機関などの立地を目指します。

○ 研究ゾーン

新しい農業などの実証実験エリアなどの誘致を進め、植物工場や研究機関が立地する新たな産業ゾーンとして整備します。

○ 集団移転ゾーン

津波被災地区からの移転を望む町民のために集団移転ゾーンとして整備します。

○ 双葉地方復興ゾーン

ふるさとに近い場所での生活を望む双葉地域などの住民に対して、住宅・住宅地などの情報提供や災害公営住宅に準ずる住宅の建設などについて検討を行います。

○ 文教ゾーン

双葉地域の広域的な機能を担っている文教施設（学校、図書館など）について、その整備が進むまで代替的な機能の町内への立地、整備を進めます。

広野町の再建に向けて

復興推進顧問としての挑戦

3月1日、町より広野町復興推進顧問として委嘱された芥川氏。町民一人ひとりの生活の復興、ふるさと広野町の復興に向けて復興推進顧問としての想いについて芥川氏に話を聞いた。



略歴

広野町復興推進顧問 芥川 一則

1998年 福島工業高等専門学校建設環境工学科に赴任
2002年 福島工業高等専門学校コミュニケーション情報科学助教授
2010年 福島工業高等専門学校コミュニケーション情報科学教授
研究分野：都市経済学

「復興計画策定協議会に参加させていただきました。参加された委員の皆さんの熱意に感動し、広野町の想いが強くなりました」

3月1日に、「広野町復興推進顧問」として委嘱され、復興推進顧問を引き受けた想いを語った。

芥川氏は、普段は、福島工業高等専門学校で教壇に立つ。研究分野は、都市経済学。福島工業高等専門学校とは、平成22年3月に産学官の連携強化を目的として地域連携協力に関する協定を締結。浅見川の水質調査などでの交流が盛んになり、現在、芥川氏は、広野町の除染アドバイザーも兼務している。

3月1日に、町の復興を目的とした広野町復興計画(第一次)を策定し、町としても復旧・復興に係る事業の立案・施行に関してスピード感をもって業務を行うため、町は「広野町復興推進顧問」を新たに創設した。

「広野町復興推進顧問」としての役割について芥川氏は、復興計画が絵に描いた餅に終わらぬよう、2つの主な役割を考えている。

「計画実施方法の提案と外部機関への広報活動を考えています。行政だけではできないことに限りがある。

あります。復興に民間の活力を取り入れ、行政と民間の調整役を担いたい」と意気込む。さらに、町民に向けて「復興は補助金で出来ません。皆さん自身が立ち上がる気持ちを持つことが復興の第一と考えています。皆さんの協力なくては広野町の復興はありません。」と町民との協働によるまちづくりの必要性を訴える。

双葉郡の南の玄関口に位置する当町は、現在、原発事故収束の最前線拠点としての役割を担っている。双葉地域の多くの広域行政機能や公益機能が失われている状況の中、双葉地域の再生・復興に期待される当町の役割は大きいと芥川氏は言う。

「広野町が双葉地方におけるモデルになる必要があると思う。広野が元気になれば双葉郡が元気なる。双葉郡が元気になれば東北、そして日本が元気になる。」と双葉郡全体の復興を訴える。

復興への課題は多岐に渡り、先行きも不透明ではある。しかし、一歩踏み出し、ふるさとに春を告げるため前に進まなければならぬ。

芥川氏の挑戦はここから始まる。

復興への思いを託す

「NPO浅見川ゆめ会議」は、浅見川河口で「浅見川灯火会」を行い、参加者が犠牲者の冥福と復興を願い熱紙風船を夜空に上げました。この企画は、東北運輸局が、大震災で被災した東北の沿岸部を置き灯籠などロウソクの火で照らそうと企画し、各地に協力を呼び掛けました。約50人が参加し、夜空高く舞い上がる熱紙風船に復興への思いを託しました。



▲復興を願い熱紙風船を夜空に上げる参加者

新たな誓いを胸に

大震災犠牲者追悼式は、3月11日、かんの斎苑で行われた。東日本大震災の津波で2人が犠牲となり、1人がいまだ行方不明。式には、遺族や行政、消防団の関係者ら約100人が出席し、犠牲者の安らかな眠りを祈るとともに復興に向けて新たな誓いを立てました。



▲湯本出張所での講演会の様子

放射線による健康への影響を学ぶ

放射線と健康に関する講演会が3月18日、湯本出張所と保健センターで行われました。

約70人が参加しました。講演では、広野町アドバイザーである富士フィルムR1ファーマ株式会社の岡崎富美夫さんがプロジェクターを使って放射線による健康への影響について分かりやすく説明しました。

広野町少年剣道大会開催

広野町剣道スポーツ少年団は、3月18日、平第三中学校武道館で第34回広野町少年剣道大会を開催しました。

剣道スポ少の指導者でもあり、栢葉中学校兼平第三中学校教諭の松田直樹先生のご協力です。平三中武道館をお借りすることができ、県内外の避難先から団員のうち25名が集まり、低学年の部、高学年の部、中学生の部に分かれて試合を行いました。



▲広野町少年剣道大会に参加した皆さん



▲広野町少年剣道大会の様子

現在、団員の多くは、避難先近くの剣道団にお世話になる形でそれぞれ剣道を続けており、広野町剣道スポーツ少年団としても昨年5月から月に1度いわき市内に集合し、活動が続け、大会などにも出場しています。

今大会は、たくさんの方々の協力と助けがあって開催することができ、震災後も剣道ができることに感謝して試合を行いました。



税務グループ

町県民税

平成23年9月30日緊急時避難準備区域の解除により国・県からの交付金などの財政支援措置を受けられないことにより、平成24年度の課税については通常課税となります。普通徴収の納税通知書は6月14日に発送予定です。

納期は、
6月15日～7月2日まで
8月1日～8月31日まで
10月1日～10月31日まで
12月3日～12月28日まで
なお、給与特別徴収の納税通知書は5月15日に発送予定です。

固定資産税

土地・家屋について、国・県からの財政支援が講じられ広野町全域1/2課税の減免措置が取られます。ただし、津波で家屋に甚大な被害のあった地区は課税免除となります。納税通知書は6月14日に発送予定です。

納期は、
第1期 6月15日～7月2日まで
第2期 8月1日～8月31日まで
第3期 10月1日～10月31日まで
第4期 12月3日～12月28日まで

軽自動車税

農耕用（トラクター・耕運機など）車両および警戒区域内に置き去りにされた車両については課税免除となります。しかし、これ以外の車両においては、通常の課税

となります。納税通知書は4月13日に発送予定です。

納期は、
全期 4月16日～5月1日まで

国民健康保険税

平成24年度保険税については、引き続き国からの財政支援を受けられることとなったことから平成23年3月11日に広野町に住所を有していた方については全額減免となります。納税通知書は7月13日に発送予定です。

平成24年度の納付について

口座振替について、平成24年4月の軽自動車税より再開いたしますが、再振替ができないことから振替日前に通帳の残高確認をお願いいたします。

平成24年度については、納税貯蓄組合員の方々が避難している状況にあり徴収ができないため納税貯蓄組合での納付ができません。

家屋被害調査について

確定申告で中断しておりました家屋被害調査につきまして、平成24年4月16日より再開いたします。なお、調査依頼される方は事前に税務グループまで電話などで申込み願います。

税証明について

税証明手数料については、4月1日よりの証明手数料がかかります。平成24年度の固定資産の評価証明については、6月14日以降から発行が可能となります。

税証明については、町県民税が特別徴収となっている方は5月14日からそれ以外の方は6月14日から発行が可能となります。

問い合わせ

税務グループ
☎0240-27-4160

町民保健グループ

広野町国民健康保険 についてのお知らせ

4月1日からの新しい保険証を、世帯主の方の避難先に3月末頃郵送しております。

また、70歳以上の被保険者の方に交付しております国民健康保険高齢受給者証についても新しい受給者証（3割負担の方は除く）を保険証と併せて郵送しておりますのでご確認ください。

有効期限の切れた保険証については、町民保健グループで回収いたしますので、役場に用事があるときなどにお持ちください。

問い合わせ

町民保健グループ
☎0240-27-12113

福祉環境グループ

各家庭の生活ゴミおよび 粗大ゴミについて

各家庭における生活ゴミおよび

粗大ゴミにつきましては、裁断できる物は裁断していただき、燃えるゴミなどの指定ゴミ袋に入れてゴミステーションに出してください。また、裁断できない物につきましては、災害廃棄物仮置場に搬入してください。

なお、災害廃棄物仮置場に搬入が困難な方につきましては、町で回収方法などを検討しておりますので、決まり次第、広報にてお知らせいたします。

問い合わせ

福祉環境グループ
☎0240-27-12115

避難先の 変更について

広報などの送付先の変更を希望する場合や避難先変更の際は、お手数ですが役場総合案内に置いてあります「住所異動連絡票」に必要事項をご記入ください。

広野町に戻られた方につきましても手続きをお願いします。

問い合わせ

福祉環境グループ
☎0240-27-12115

児童保育グループ

保育料負担軽減助成 金の交付について

町では、東日本大震災により避

難し、広域入所制度により避難先市町村の認定保育所に通所している児童の保護者に保育料などの助成を行います。

助成期間は、平成24年1月分から平成25年3月分までの支払った保育料などが対象となります。詳細については、お問い合わせください。

問い合わせ

町民課児童保育グループ
☎0246-143-1331

広野小・中学校、幼稚園、保育所、児童館の広野町本校舎 などの再開時期について

いわき市内で既に再開している広野小学校（いわき市立中央台南小学校内）および広野中学校（いわき市立湯本第二中学校内）は、引き続き現在再開している場所での授業を進めており、4月1日現在、広野小学校へは66名の児童が、広野中学校へは22名の生徒がそれぞれ通学していますが、広野町が出していた避難指示を3月31日に解除したことや、平成24年度1学期中に学校施設の除染や災害復旧工事、空調設備設置工事などがほぼ完了する目途が立ったことから、平成24年度2学期から広野町本校舎での授業を再開することとなりました。

併せて、広野幼稚園、保育所、児童館も本来の場所で再開いたします。



◆問い合わせ
 広野町役場湯本出張所内
 就園奨励費担当
 ☎0246-43-1330

今後、通園する幼稚園へ、保護者の方々へお渡しする通知や申請書等を送付する予定となっておりますが、送付する際には改めて広報等でお知らせいたします。

◆問い合わせ

広野町役場湯本出張所内
 就園奨励費担当
 ☎0246-43-1330

幼稚園就園奨励費補助事業（保育料などの一部援助）の実施について

今後、広野町本校舎での授業再開に向けたお知らせや説明会を行います。ご不明な点は各学校、園、所を所管する担当グループまでお問い合わせください。

- ・小学校、中学校、幼稚園
- ・教育委員会事務局
☎0240-27-4166
- ・保育所、児童館
児童保育グループ
☎0246-43-1330
- または☎0240-27-2111
(保育所担当)

予防接種を受けましょう

予防接種は感染を予防する上で、非常に効果的な手段の一つです。
 対象年齢になりましたら、母子手帳などを確認し、早めに予防接種を受けてください。



保健だより

予防接種の種類	対象者	回数	その他	
三種混合 ・ジフテリア ・百日咳 ・破傷風 (DPT)	1期 初回	生後3か月～ 90か月未満の方	3回	接種間隔を20日～56日おいてください。
	1期 追加	生後3か月～ 90か月未満の方	1回	1期初回（3回目）終了後、6か月以上（目安：1年～1年半）おいてから接種してください。
二種混合 ・ジフテリア ・破傷風 (DT)	2期	11歳以上 13歳未満の方	1回	
ポリオ	生後3か月～90か月未満の方	2回	接種間隔を6週間以上おいてください。	
麻しん風しん (MR)	1期	生後12か月～ 24か月未満の方	1回	
	2期	小学校入学前 1年間の方	1回	
	3期	中学1年生に相当する年齢の方	1回	今年度末までの措置です。
	4期	高校3年生に相当する年齢の方	1回	今年度末までの措置です。
日本脳炎 ※特例措置が設けられています。下記を参照してください。	1期 初回	生後6か月～90か月未満の方	2回	接種間隔を6日～28日おいてください。
	1期 追加	生後6か月～90か月未満の方	1回	1期初回（2回目）終了後、おおむね1年おいて接種してください。
	2期	9歳以上13歳未満の方	1回	
BCG	生後6か月未満	1回		

接種方法 接種を希望する医療機関に予約を入れてから受診してください。当日は母子手帳および保険証等住所・氏名・生年月日が確認できるものをご持参ください。（避難先市町村により接種方法が異なりますので、事前にご確認ください）
 自己負担があった場合は、後日お支払いしますので、領収書および予診票の写しを保管し、早めにご連絡ください。

※日本脳炎予防接種：平成17年からの日本脳炎の積極的接種勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した平成7年4月2日～平成19年4月1日生まれの方は、予防接種の対象となります。

※ポリオ予防接種：集団接種をしている市区町村もあります。（いわき市の医療機関では4月と10月のみ実施）

問い合わせ先 広野町役場湯本出張所 町民保健グループ ☎0246-43-1330

平成24年度広野町奨学資金貸与事業について

広野町では、広野町に住所を有する方で、専修学校専門課程、短期大学または大学（大学院を除く）に在学し、品行が正しく学術にすぐれているが、経済的理由により修学が困難と認められる方に対して、月額100,000円以内で奨学資金の貸与を行っています。

受付期間は、平成24年4月27日まで（土日祝日を除く）となります。

申請用紙については広野町役場本庁舎2階教育委員会事務室でお渡ししております。

※受付は広野町役場のみとなります。湯本出張所では受付できませんのでご了承ください。

平成24年度広野町育英奨学資金貸与事業について

広野町では、広野町に住所を有する方で、高等学校に在学し、能力があるにもかかわらず経済的理由により就学困難と認められる方に対して、教育の機会均等をはかり健全な社会の発展のため、月額5,000円の奨学資金を給与しています。

受付期間は平成24年4月27日まで（土日祝日を除く）となります。

ので、希望される方は広野町教育委員会事務局までお問い合わせください。

双葉地方水道企業団からのお知らせ

水道水のモニタリング結果について

企業団の水道水に含まれる放射性ヨウ素、放射性セシウムは、平成24年3月15日現在、検出されておられません。（検出下限値は1Bq/kg未満）

採水場所 小滝平浄水場（広野町）
小山浄水場（楢葉町）

測定機関 いわき市水道局

採水曜日 日・火・木曜日

（週3回）

平成23年3月分（2月使用分）の水道料金の減免について

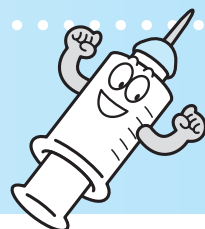
平成23年3月11日以降請求予定だった平成23年3月分の水道料金については、減免することといたします。

◆問い合わせ

双葉地方水道企業団
災害対策本部

☎0246-23-6751

子宮頸がん(HPV)予防ワクチン ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン 接種費用の助成を行っています



保健だより

【対象者】

広野町に住所を有する次の方

子宮頸がんワクチン…中学1年生相当の女子

※平成24年度に限り経過措置として中学2年生～高校1年生（昨年度接種対象の方）相当の女子も接種の対象といたします。

ヒブワクチン…2か月～5歳未満のお子さん

小児用肺炎球菌ワクチン…2か月～5歳未満のお子さん

【接種場所】

福島県内の登録医療機関

【接種回数】

子宮頸がんワクチン…3回

ヒブワクチン…接種開始年齢により1～4回

小児用肺炎球菌…接種開始年齢により1～4回

【接種費用】

自己負担なし

【接種方法】

接種を希望される方はお手数ですが事前の下記まで予診票を取りに来てください。来ることができない場合はご連絡ください。

接種を希望する医療機関に予約を入れてから受診してください。

受診の際は予診票、母子健康手帳および保険証（住所・氏名・生年月日が確認できるもの）を持参してください。

【県外で接種された場合】

自己負担が発生した場合は、領収書および予診票の写しを保管し下記までご連絡ください。

このワクチンは、対象疾病を予防するために効果的といわれていますが、接種は法的な義務付けはなく、希望する方を対象に行う予防接種です。対象となる疾病は、かかると重症になったり後遺症を残す可能性がある疾病です。

予防接種の効果と副反応をよくご理解いただいたうえで、接種を受けてください。

問い合わせ先 広野町役場湯本出張所 町民保健グループ ☎0246-43-1330

広野町内モニタリングデータ

測定：富岡消防署および役場
単位： $\mu\text{Sv/h}$

測定日	3/11	3/14	3/16	3/19
測定データ	測定日 天候			
	曇	晴	晴	晴
	測定日 風向			
	無風	南南東	南	北北西
測定所在地	調査線量 (単位： $\mu\text{Sv/h}$)			
正木内集会所	0.40	0.40	0.47	0.44
館地区集会所	0.38	0.35	0.41	0.33
折木地区集会所	0.30	0.30	0.30	0.30
東下地区集会所	0.45	0.45	0.52	0.36
亀ヶ崎地区集会所	0.31	0.34	0.31	0.30
南沢地区集会所	0.36	0.41	0.45	0.36
桜田地区集会所	0.40	0.35	0.42	0.38
浅見生活改善センター	0.42	0.42	0.49	0.37
長畑地区集会所	0.43	0.39	0.45	0.44
小松地区集会所	0.43	0.38	0.48	0.41
箒平地区集会所	0.41	—	—	—
下浅見川地区集会所	0.43	0.43	0.47	0.32
築地地区集会所	0.33	0.38	0.38	0.33
浜田地区集会所	0.29	0.33	0.40	0.33
下北迫地区集会所	0.48	0.53	0.54	0.42
上北迫地区集会所	0.48	0.51	0.55	0.49
田の神地区集会所	0.63	0.64	0.65	0.62
二本柵地区集会所	0.43	0.41	0.43	0.45
苗代替地区集会所	0.45	0.46	0.51	0.40
広野町公民館	0.39	0.32	0.37	0.39
広洋台地区集会所	0.50	0.49	0.52	—
二ツ沼総合公園	0.65	0.67	0.66	0.68
仮置き場	0.34	0.35	0.35	0.32
広野町役場	0.17	0.18	0.18	0.17
総合グラウンド	0.34	0.27	0.21	0.27
桜田住宅	0.30	0.37	0.42	0.35
広野幼稚園	—	—	—	—
広野小学校	—	—	—	—
広野中学校	—	—	—	—

※観測日の、天候・風向については役場を基準とする。

※測定方法については、地上1mの高さで行い、シンチレーション式サーベイメーターで測定し、安定後上限値を記録。

※役場は、除染後の値。

※「—」は実施せず。

医療機関などの診療日および診療時間などの状況（3月19日現在）

●高野病院 ☎27-2901

月曜日 9:00~12:00
火曜日 9:00~12:00
木曜日 9:00~12:00
金曜日 9:00~12:00
土曜日 9:00~12:00

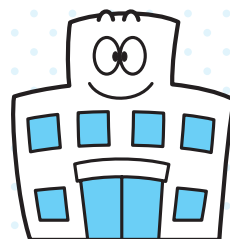
●馬場医院 ☎27-2231

月曜日 14:00~18:00
木曜日 8:30~11:00

●広野薬局 ☎27-2265

月曜日 9:00~17:00
木曜日 9:00~16:00
金曜日 9:00~12:00

*その他の医療機関等につきましては、休診・休業となっています。



広野町内ごみ収集カレンダー

4月

5月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
	1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
	可燃	ペットボトル プラスチック	不燃	可燃					ペットボトル プラスチック	可燃				
	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
	可燃	ペットボトル プラスチック	カン類	可燃	粗大			可燃	ペットボトル プラスチック	不燃	可燃			
	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
	可燃	ペットボトル プラスチック	ビン類	可燃				可燃	ペットボトル プラスチック	カン類	可燃	粗大		
	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
	可燃	ペットボトル プラスチック			可燃			可燃	ペットボトル プラスチック	ビン類	可燃			
	29	30						27	28	29	30	31		
								可燃	ペットボトル プラスチック		可燃			

広野町内でのごみの収集について

4月および5月の広野町内でのごみ収集日は上記のとおりです。
 ごみを出す場合は「ごみと資源の分け方・出し方」を確認し、指定ゴミ袋に分別して、収集日当日にごみステーションボックスに出してください。
 粗大ごみを出すときは、南部衛生センター【☎0240-25-4609】へ3日前まで連絡してください。受付時間は、午前10時～午後3時です。広域職員がご自宅まで回収しにお伺いいたします。(有料です)
 また、古紙類については、広野町役場車庫にて随時回収しております。

くらしの情報

● 町のすがた ●

世帯数 1,916世帯
 総人口 5,298人
 (男) 2,625人
 (女) 2,673人

● 人のうごき ●

転入 7人
 転出 10人
 出生 2人
 死亡 5人

平成24年2月29日現在

【指定袋販売店】

- ・島村金物店
- ・渡辺金物店
- ・四倉屋精肉店
- ・堀江商店



Hirono Town Public Information



編集・発行/広野町役場総務課企画グループ
 ☎(0240)27-2114
 ホームページ <http://www.town.hirono.fukushima.jp>
 Eメール kikaku@town.hirono.fukushima.jp

- 広野町役場
- 湯本出張所

福島県双葉郡広野町大字下北迫字苗代替35 ☎0240-27-2111(代)
 福島県いわき市常盤上湯長谷町釜ノ前5番地
 FDKモジュールシステムテクノロジー(株)
 いわき工場社屋(旧いわき電子(株)) ☎0246-43-1331